

## ▼スピロピタン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】スピペロン Spiperone 【分類】抗精神病薬 [ブチロフェノン系]

【単位】▼0.25mg・▼1mg/錠

【常用量】最初約1週間は0.5～1.5mg/日、以後漸増し1.5～4.5mg/日

【用法】

【透析患者への投与方法】ヒトでのデータがなく不明 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】ヒトでのデータがなく不明 (5)

【特徴】ハロペリドール類似のブチロフェノン系抗精神病薬で、黒質-線条体路をはじめとするドパミン作動性中枢神経におけるドパミン受容体遮断作用を有する。パーキンソン病、レビー小体型認知症患者に禁忌。

【主な副作用・毒性】悪性症候群、イレウス、突然死、SIADH、血球減少、頻脈、血圧低下、肝障害、アカシジア、パーキンソン症候群、ジスキネジア、錐体外路症状、角膜・水晶体の混濁、角膜の色素沈着、発疹、頭痛、眠気、口渇、鼻閉、排尿障害、消化器症状など

【F】資料なし (1)

【tmax】3hr [ウサギ] (1)

【代謝】代謝を受けて腎排泄される [ラット] (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 1.3% [ラット, im] (1) 尿中回収率 74.3% [ラット] (1)

【t1/2】資料なし (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】395.47

【透析性】資料なし (1)

【O/W 係数】資料なし (1)

【相互作用】アドレナリンの血圧反転 (1)

【更新日】20201014

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。